

令和3年4月より新設する各センターについて

高度先進医療及びがん診療のさらなる充実を図り、新たに先端医療センター低侵襲手術部門及びがん総合診療センターを設置します。また、チーム医療の更なる強化を目的とし、臓器別・疾病別センターとして現在設置している8つのセンターに加え、3つのセンターを新設します。

1 先端医療センター 低侵襲手術部門

センター名	概要
不整脈治療部門	不整脈のもととなる異常な部分を高周波電流で焼灼するアブレーション治療の実施体制の充実を図ります。 カテーテルアブレーション治療は、心房細動の治療に適しており、動悸をはじめとする自覚症状の改善や、脳梗塞、心不全といった重篤な症状の予防につながります。 不整脈の非薬物治療は日々進歩していますが、当医療センターでは、保険適用外ではなく保険適用の範囲内で、可能な限り高いレベルの治療を提供し、地域医療に貢献してまいります。
ロボット手術部門	手術支援ロボット「ダヴィンチ」による手術の実施体制の充実を図ります。前立腺がん、腎がんなど、ロボット手術の保険適応は初め泌尿器科領域のみでしたが、2018年から外科領域等14術式、2020年から新たに7術式が保険収載されています。 当医療センターでも様々な診療科でダヴィンチを使用した手術が増えてくるのが想定されます。これまで培った経験・技術をいかし、関連する診療科、部署と協力して、これからも高度な先端的医療であるロボット手術を安全に提供していきます。
低侵襲手術部門（新設）	手術部門における低侵襲治療のさらなる充実に向けて低侵襲手術部門を設置し、地域医療における鏡視下手術などの低侵襲手術の中核的な役割を担い、低侵襲手術のさらなる拡充を目指します。

2 がん総合診療センター（新設）

がん診療に関係する各診療科と各部署間の連携を強化し、組織横断的にがん診療の更なる充実を図ります。

がん総合診療センターはがん診療機能を総括する部門で、がん診療における関連部署の連携強化、各部署で改善すべき項目等について管理、指示、効率的な運用を行い、県指定がん診療連携拠点病院として更なるがん診療体制の改善に取り組みます。

『がん総合診療センター』の新設により、今後がん診療のレベルを向上させ、患者さん、一人一人に合った、きめ細かい医療を提供します。

3 臓器別・疾病別センター

センター名	概要
消化器センター	消化器系疾患に対して消化器内科、外科、消化器外科を中心に、放射線診断科、放射線治療科、血液・腫瘍内科、病理診断科とも連携し、患者さんを第一義に考えた診療を行います。
循環器センター	心血管造影装置を備えた血管造影室、ハイブリッド手術室、他列CT、心臓シンチグラフィ装置等により、各分野の専門医師が循環器疾患の最先端の診断と治療を提供します。
呼吸器センター（新設）	肺がんをはじめとする呼吸器疾患診療において、呼吸器内科と呼吸器外科が連携して総合的な診療を行います。 がん領域における医療の進歩の共有、診断治療方針の決定、治療の遂行、非がん領域においても外科的手技による診断等センター化により個別の診療科にこだわらない医療を提供します。
脳卒中・神経センター	脳卒中などの脳血管障害、脳腫瘍などの機能障害、パーキンソン病・認知症などの神経変性疾患、重症筋無力症などの免疫疾患、末梢神経疾患などの感染性疾患など、様々な脳・脊髄・神経疾患の診療を専門的に実施します。
糖尿病センター	多職種からなる糖尿病サポートチームを構成し、糖尿病の様々な合併症の評価と予防、糖尿病学習入院など患者さんに病状に最も適した糖尿病治療を行います。
血液浄化センター	血液透析患者さんの入院透析、オフライン血液濾過透析、LDL 吸着治療、腹水濾過濃縮再静注法、白血球除去療法、血漿交換療法など多岐にわたる血液浄化療法を施行します。
重症虚血肢センター	難治性で生命予後も悪い、糖尿病、透析患者の末梢動脈疾患による足潰瘍、重症虚血肢について、多科にわたる適切で迅速な治療を実施します。
リウマチ・膠原病センター	関節リウマチやその他の膠原病に対し、基礎療法、薬物療法、手術療法、リハビリテーションを適切なタイミングで行い、少しでも患者さんの機能維持、改善が得られるよう、多職種で連携をとり治療を実施します。
放射線治療センター	現代のがん診療において、臓器・領域別の各診療科に加え、放射線治療科、血液・腫瘍内科、緩和ケア内科といった多診療科に渡る連携が不可欠です。さらに、看護師、放射線治療技師、医学物理士といった職種をまたいだ連携も高品質ながん医療には必須です。これらの連携を実現するべく令和2年4月に当センターが設立されました。
外来化学療法センター（新設）	がん薬物療法を通院しながら受けられるよう、「化学療法室」を設置し、年間約3000件を実施・管理しています。 また各診療科の患者さんを一元化して受け付けており、レジメン登録管理、無菌調製を施行し、「安全・安心」な診療を提供します。
口腔機能管理センター（新設）	がん治療における支持療法である周術期口腔機能管理について医科歯科連携の強化を図ります。 有害事象発症を軽減させ、治療完遂の支援を行い、患者さんへの認知度向上や口腔管理の啓発等、地域医療に貢献します。